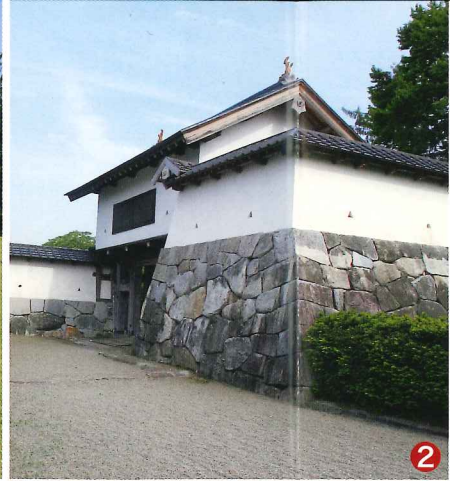
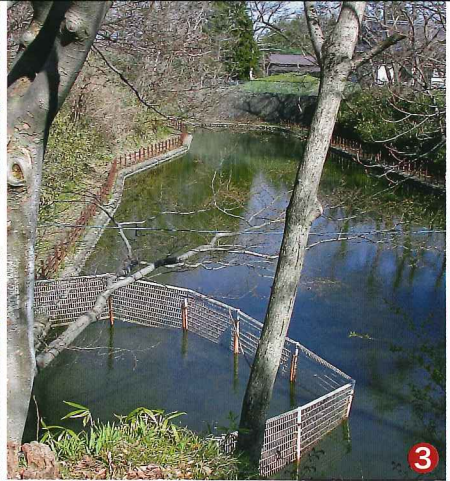




1



2



3



4

1 花巻城本丸跡

市指定史跡 現鳥谷ヶ崎公園
花巻城では、本丸の西御門に通じる土橋付近にのみ野面積みという石垣が築かれています。本丸には天守閣はなく、藩主が花巻を訪れた際に使われる御殿がありました。現在は芝生の公園となっています。

2 西御門(復元)

本丸西御門は、平成四年(一九九二)に花巻城整備四百年を記念して復元が計画され、

4 円城寺門

周辺の発掘調査や資料収集が行われたのち、平成七年四月に落成しました。

3 御堀跡

花巻城には数多くの堀が巡らされています。外堀としては西側に濁り御堀、南に上御堀、下御堀、そして二の丸と三の丸の間には、葉研御堀、亀御堀、白御堀などがありました。本丸と二の丸の間にある鐘撞堂前御堀は、現在も水をたたえ、往時の様子を偲ばせてくれます。

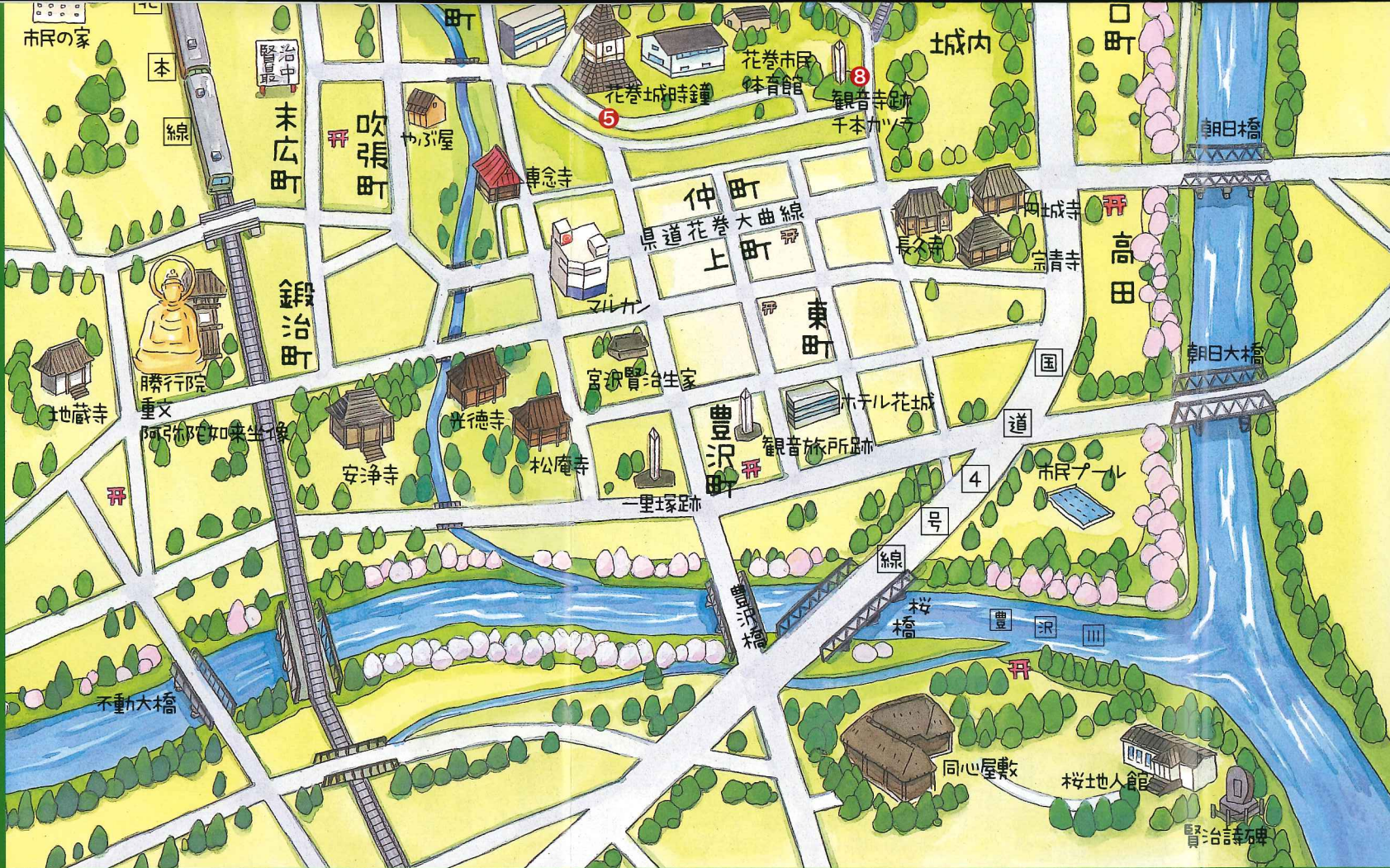
5 花巻城時鐘

市指定文化財 鳥谷崎神社
円城寺門は、もと和賀氏の居城であった二子城(飛勢城)の追手門でした。慶長十九年(一六一四)花巻城主となった南部政直は、藩主利直の命により花巻城整備を行った際、三の丸搦手の円城寺坂に移築したものとされています。

市指定文化財 花巻市役所前

花巻城跡 散策ガイドマップ





この時鐘は、かつて花巻城二の丸の一角(通称四角山)にありました。正保三年(一六四六)南部重直公の時代に盛岡城の時鐘として鑄造されましたが、延宝七年(一六七九)に花巻城に移されました。現在も夕方六時に鐘がつかれ、時を告げています。

⑥東御門跡の土塁

土塁は、城の縁辺部に沿って盛土を巡らしたもので、この上に柵や土塀などを築きました。二の丸の東御門周辺に残る土塁は、高さ

三〜四mもあり、断面を見ると三期にわたって造成され、その規模が拡大していったことがわかります。

⑦鶴陰碑(復刻碑)

鶴陰碑は、江戸中期の安永年間から明治初期にかけて、城下で功績のあった先人一九四人を顕彰した石碑です。石碑は三の丸跡にありましたが、現在は花巻市博物館に移され、代わりに復刻された石碑が、二の丸跡の武徳殿横に建っています。

⑧観音寺跡と千本カツラ

市指定文化財 花巻市仲町 三の丸の円城寺坂の下に蓬萊山観音寺という寺院がありました。現在の花巻まつりも観音寺の祭礼から始まったものですが、明治の廃仏毀釈により廃寺となりました。観音寺跡には、後に町の講中により新しく観音堂が建てられました。境内には花巻城の栄枯盛衰をみつめた樹齢数百年の市指定文化財の千本カツラが残っています。

